

# 『甲斐国志』に見る中世武田氏の絵画

## 守屋正彦

本稿は中世における『甲斐国志』上に記された絵画に限定して抜粋した抄録である。多くが武田氏に関連していたため、そのままに神社部、仏寺部を記載順序のとおりに列挙したものであり、文中（未詳）を除いてはある程度時代の判断できる作例であるが、ここでは原文に忠実に従おうとしたため、今日に使用される表記でないままのものもある。

### 《神社部》

- 一 卷五十五 神社部第一 山梨郡府内  
該当作品なし
- 一 卷五十六 神社部第二 山梨郡万力筋  
八幡宮 八幡北村（窪八幡神社）
- 一 三十六歌仙 但シ一枚不足天文十四年武田晴信信州伊奈郡箕輪攻ノ立願ニ付直筆ニテ奉納画工ハ権少僧都宥純也板記二枚アリ
- 一 橋辨慶ノ画 天文十四年窪川宮内少輔奉納
- 一 卷五十七 神社部第三 山梨郡栗原筋  
熊野権現 熊野村

- 飯綱ノ画像・刀八毘沙門ノ画像 共ニ信玄寄附と云
- 渡唐ノ聖像・欝器ノ図 共に勝頼寄附ト云
- 一 卷五十八 神社部第四 八代郡大石和筋  
該当作品なし
- 一 卷五十九 神社部第五 八代郡小石和筋  
美和明神 二ノ宮村
- 一 永禄六年信玄義信奉納ノ三十六歌仙
- 一 卷六十 神社部第六 山梨郡中郡筋  
該当作品なし
- 一 卷六十一 神社部第七 巨摩郡中郡筋  
該当作品なし
- 一 卷六十二 神社部第八 八代郡中郡筋  
諏方南宮明神 寺尾村
- 一 扉ハ逍遙軒信綱寄附松杉桜四季ノ草花等モ画ク  
社（校者曰クコノ社即チ福年明神ニシテ扉ナホ存セリ）ニ用フ  
一 社分ノ扉ハ今下曾根村ノ



一 卷六十三 神社部第九 山梨郡北山筋

該当作品なし

一 卷六十四 神社部第十 巨摩郡北山筋

該当作品なし

一 卷六十五 神社部第十一 巨摩郡逸見筋

該当作品なし

一 卷六十六 神社部第十二 巨摩郡武川筋

該当作品なし

一 卷六十七 神社部第十三 巨摩郡西郡筋

八王子権現 落合村

古<sup>キ</sup>鷹ノ画アリ納ムル人ヲ知ラズ(未詳)

一 卷六十八 神社部第十四 八代郡西郡筋

御崎明神 上野村

十六善神ノ画像(未詳)

文珠ノ画像<sup>弘法所筆ト云</sup>(〃)

一 卷六十九 神社部第十五 巨摩郡西河内領

賀茂明神 下山村

信玄奉納ノ短刀・数珠・中啓・毘沙門・不動ノ画像并<sup>ビ</sup>ニ

梅雪齋ノ扇子等アリ

一 卷七十 神社部第十六 八代郡東河内領

該当作品なし

一 卷七十一 神社部第十七ノ上 都留郡郡内領

富士浅間明神 上吉田村

永享元戌年六月結城上野守基氏奉納兜前立鏡沓面、菅家神影一幅筆者未詳又讃岐守秦安澄所筆ト云フ

永享元戌年<sup>校者曰ク永享元年ハ己酉ニシテ同年庚戌ナリ思フニ二年ノ誤リカ</sup>六月結城上野守基氏

奉納兜前立之鏡一面<sup>桐ノ紋五ツアリ柄ノ末ニ小孔アリ</sup>菅家神影一幅<sup>長二尺九寸八分幅一尺二寸</sup>

六画絹粗ニシテ太シ近代ノ物ニアラズ筆者不<sup>レ</sup>詳<sup>ナラ</sup>或ハ

云フ讃岐守秦安澄所筆ト言ヒ伝フ不<sup>レ</sup>知<sup>ニ</sup>是非一ヲ容貌

如<sup>レ</sup>生ケルガ上代ノ妙手ナルベシ

一 卷七十二 神社部第十七ノ下 都留郡郡内領

該当作品なし

### 《仏寺部》

一 卷七十三 仏寺部第一 府中

稻久山一蓮寺

応永廿九年寅仲冬廿五日武田信重所藏渡唐天神ノ画<sup>巨勢金岡者曰ク金岡ニ非ズ明兆ノ筆也</sup>讚ノ詩偈廿首<sup>洛下濟門ノ諸老詠レ之</sup>信玄嘗テ臨写シテ為

ス当寺ノ什物一書ハ鉄山懶齋ノ尾誌アリ文安三年三月日

沙弥花押<sup>武田信重</sup>

信重

武田信重

広教山信立寺<sup>緑町</sup>

大永二年身延山日伝授ニ<sup>ニ</sup>与<sup>スル</sup>信虎<sup>ニ</sup>ノ大曼荼羅一幅<sup>ニ</sup>按

此年信虎二十九歳於<sup>ニ</sup>身延山<sup>ニ</sup>得度セシコト勝山記ニ見<sup>ニ</sup>鏡中衆長遠寺ニ同年二月日授<sup>ニ</sup>与<sup>スル</sup>左京大夫信虎<sup>ト</sup>記タル日伝ノ曼荼羅一幅アリ



功德山尊跡寺 金手町

寺記ニ曰フ 本尊真向ノ弥陀三尊ハ唐ノ善導大師因<sup>リテ</sup>

則天皇后ノ需<sup>メニ</sup>所<sup>レ</sup>写<sup>ス</sup>ナリ釈道隆將<sup>チ</sup>来<sup>リ</sup>シヲ初<sup>メ</sup>

置<sup>キ</sup>禁中ニ遷<sup>シ</sup>石清水ニ又武田信虎ニ伝ハリ大永中遂

ニ当寺ヲ創シテ本尊ト為ス

古筆ノ画(未詳)

甲福山教安寺 金手町

墨画ノ観音<sup>ノ筆</sup>勿慶<sup>ノ筆</sup>(未詳)

弥陀ノ三尊<sup>ノ筆</sup>張思慕(正しくは恭)

瑞雲山長禪寺

逍遙軒信綱ノ渡唐天神自画賛一幅

瑞雲院殿ノ肖像一幅<sup>信康ノ所<sup>レ</sup>画上ニ自詠ノ和歌又安之叟ノ賛辭アリ</sup>

清水山万蔵院 大工町

(梵字不動ノ画像<sup>弘法</sup>弘仁中於<sup>テ</sup>東寺<sup>ニ</sup>所<sup>レ</sup>写<sup>ス</sup>禁中ニ上

ツリ後ニ叡山法性院ノ什物トナリシヲ晴信落髪ノ刻ミ請

ヒ受<sup>ケ</sup>テ旗屋ノ本尊トス

万年山大泉寺 古府中

法性不動 此像ハ天文中寺域ニ毎夜光リ物アリ三ツ頭ノ山頂ニ及ブ如<sup>ク</sup>虹

今虹池又不動滝<sup>信玄使<sup>ニ</sup>人掘<sup>レ</sup>地獲<sup>ニ</sup>不動像一軀<sup>ニ</sup>乃チ曹ノ前立トス其地ヲト名ツクトト云</sup>

信虎ノ画影 逍遙軒ノ筆 春国ノ讃辭

祖師ノ絵像 古法眼ノ筆勝頼ノ所<sup>レ</sup>寄

涅槃像 王維ノ筆ト云勝頼所<sup>レ</sup>寄

外ニ古書画ノ類多シト雖モ省略シテ不<sup>レ</sup>載

藤光山法華寺 細工町

三十番神・七面明神・松尾ノ神像<sup>拜殿下陣ニアリ額ハ宝鏡院ノ宮ノ筆</sup>

卷七十四 仏寺部第二 山梨郡万力筋

光明山帰命院 東光寺村

曼陀羅一幅 恵心<sup>(信玄寄附)</sup>

天満宮画像 信玄

松本山大蔵寺 松本村

八祖画像 八幅 唐画

涅槃画像 僧畫彩筆永享七卯年裏書ニ松本山トアリ

卷七十五 仏寺部第三 山梨郡栗原筋

等力山万福寺 下栗原村

太子馬上ノ像・同御爪髪・南無仏分身舍利・阿弥陀善導大

師ノ影像各々古画ナリ、親鸞色裳ノ絵像、并ニ法然親鸞連

座ノ影像

曼荼羅 頼源律 師畫

等力山万福寺 等力村



(親鸞ノ) 絵伝六幅 寛如銘、土佐光業画

法然絵伝二幅 幅四尺長六尺許 土佐光業筆ト云

光明品一幅 古筆也当宗念仏ノ相承ヲ画ク

万福寺絵伝二幅 長五尺幅三尺許筆者不レ知古代寺境ノ画図ナリ希古不レ凡甚ダ広潤ニシテ菱山・柏尾・萩原等皆在ニ図中一部ニ古跡シ

方便法身像 一貫代如來裏書アリ大永壬午四月十六日実如在判前住順勝ニ所レ賜ナリ

右ノ外古人書画ノ類多シ

円成寺 東泉坊

臨濟禪師画像一幅

休息山立正寺 休息村

其ノ外古伝ノ書画經文ノ類略シテ不ニ枚挙セ

柏尾山大善寺

大般若本尊十六善神 画面ニ書アリ願主道清岩崎竹内筆者知泉表絹本願西光坊長祐律師文明十六年甲辰霜月廿三日

不動画像一幅 竪一丈一尺二寸五分横一丈五尺余表具天二尺五寸地一尺二寸五分縁一尺二寸五分也

巨勢金岡筆也背ニ記シテ云フ 初度爰ニ甲州岩崎一分ノ地頭

武田筑前権ノ守源武政以テ錦ヲ表具被ル加ヘ修理ヲ

者也嘉元四年丙午二月廿八日尔后之表本当寺住僧式部公長辻

校者曰ク辻ハ遷ノ俗字辻ノ誤リ即チ式部公長遷ナリ此ノ近里ヲ勸化被レ加ヘ修補ヲ

畢ヌ時住寺岩殿ノ権少僧都明泉代別当権大僧都榮賢表背

師ハ表具ノ誤リ錦之住僧聖通延徳元年己酉九月八日人皇六十

代醍醐帝延喜年中金岡書クト之ヲ糺ニ明スルニ年代ヲ

慶長壬寅年迄凡ソ七百年歟慶長七壬寅七月十二日注ス之

ニ當時設摩堂住紹有ト又寛永十二亥延享二丑兩度裏打表具ノ記

アリ文ハ略ス之ヲ毎年七月六日夜ヨリ十七日護摩修行天

台大師画像ノ表装ニ記シテ云フ奉三表一補ニ絵シ

天台大師ノ御影ヲ甲斐国柏尾山公用也天正五年丁丑霜月

大師當番常行堂摠持院慶紹法印願主是也

裂石山雲峯寺 上萩原村

信玄自画ノ不動ノ像等アリ

塩山向岳寺

達磨ノ画一幅上ニ隆蘭溪ノ賛詞アリ亦附録ニ載ス此ヲ毘首

ノ達磨ト云ヒ伝ヘタリ何人ノ所ニ模写一スルニヤ未ダ詳ナラ

冥府ノ古画十幅

羅漢十六幅

兆殿司ノ観音、同涅槃ノ図各々一幅

楊補之ノ梅

錢舜拳ノ蓮

雪舟ノ雁、各々双幀也又有ニ東坡ノ竹、補之ノ梅大幅一

有レ故今之ヲ亡スト云

其餘和漢ノ墨跡及ビ品類尚多シ

乾徳山慧林寺

夢窓肖像一幅 周曇芳ノ筆方ハ夢窓ノ嗣法鎌倉ノ永安寺開山也嘗テ当寺ニモ輪住セリ



牧溪ノ羅漢画十六幅 信玄寄進ノ由帳背ニ快川ノ記アリ壬午ノ兵  
變ニ亡レ之今第九第十二存ニ二幅ノミ

同緋衣達磨像一幅

可翁ノ海島大士像一幅

不動ノ画一幅 逍遙軒筆  
甲冑立像

和漢古書画器品甚多シト雖モ不二枚拳セ

高橋山放光寺 藤木村

其外古書画アリ天正壬午ノ兵火ニ罹リシ故武田家ノ文書古鬼

籙等総テ伝ハラズ (興教大師ノ画不動一幅に  
つづけて記されている。)

卷七十六 仏寺部第四 八代郡大石和筋

金剛山慈眼寺 末木村

勝頼ノ遺物ヲ高野山ヘ贈リシ書稿(書稿中に高野山引導院取  
藏の絵画の記載あり)

勝頼公并ニ御台所御曹子ノ寿像一幅

大勢至菩薩 勝頼公御守本  
尊小野道風筆 一幅

妙龜山広嚴院 中沢村

十一面觀音ノ画像 金岡ノ信玄ノ寄附ナリ  
筆ト云

卷七十七 仏寺部第五 八代郡小石和筋

宝林山広濟寺 奈良原村

十六善神画像 兆殿  
司筆

卷七十八 仏寺部第六 山梨郡中郡筋

鳳堂山仁勝寺 小瀬村

鳴鶴ノ画扇 右馬助所  
持ト云

玉楽ノ画扇 今川氏真ノ  
所レ持ト云

卷七十九 仏寺部第七 巨摩郡中郡筋

該当作品なし

卷八十 仏寺部第八 八代郡中郡筋

七覚山円樂寺 右左口村

古筆仏画等多シ(記載なし)

卷八十一 仏寺部第九 巨摩郡北山筋

該当作品なし

卷八十二 仏寺部第十 山梨郡北山筋

長松山惠雲院 塚原村

開山(実ハ二世)ノ画像 逍遙  
軒筆 讃辞

ハ長禅寺ノ森国長老 (森国ハ長  
禅寺春国)

卷八十三 仏寺部第十一 巨摩郡逸見筋

該当作品なし

卷八十四 仏寺部第十二 巨摩郡武川筋

台原山竜福寺 台ヶ原駅

明人ノ画ケル葉師ノ像アリ

卷八十五 仏寺部第十三 巨摩郡西郡筋



加賀美山法善寺 加賀美村

御影堂 弘法大師ノ像 大師 自画 (未詳)

八幡神・弘法大師相互ノ御影二幅

大威徳不動尊薬師五大明王弥陀三尊ノ画以上五幅(弘法大師筆)不動明王画像智証大師筆、奉修覆聖無動明王像願主権大僧都法師光海窃聞此畫像者智証大師御筆当家守護之重代也源太守信玄公直ニ仰曰ク於テ三井寺新羅宝前ニ義光御元服因リ玆号ニ新羅三郎ト別當ニ鎮護国家一此本尊破ル進ニ上セ義光ニ從リ其以來代々仰信異ニ于他ニ爰ヲ以テ為ニ鎮国安民道場一故法善護国寺ニ奉リ令ニ安置セ給フ正五九之祈禱之外莫キ奉ル掛ケ此尊一而已維時永祿十三稔庚午初夏十四日書ス府細工岡本秀善法善護国寺々務権大僧都法印光海、此像命アリテ後ニ高野山ニ贈ルト云フ寛延二年六月一日高野山西院谷平等院ニテ直ニ書ニ写シ之ヲ了ル、法善寺ノ住海応弟子密辨演三房トアリ

十二天画一幅恵果和尚筆

不動尊画一幅覚鑑上人筆

菅相丞ノ像一幅 自画 云伝

三千仏ノ画像三幅 文明十一己亥霜月勅進沙門 頼慶・雄円・昌元・雄慶

十王冥府ノ唐画十三幅 武田晴信寄進元亀四年癸酉三月廿一日 法印光海ト毎鋪ニ書アリ筆者不レ知

子昂ノ画一幅

雪村ノ三幅対

正宅山不動寺 古市場村

弘法ノ画ト云ヒ伝フル不動アリ奇古凡ナラズ但湮滅セリ又観音ノ画像アリ側ニ天文十季辛丑菊月十八日武田大膳大夫晴

信敬白奉納新長谷寺真前ト書ス 新長谷寺ハ河内領 下山ニ在リ

金剛山明王寺 春米村

不動明王ノ画像二幅 弘法大師ノ筆 鳥羽僧正範俊筆

如来荒神ノ画一幅 弘法大師ノ筆

徳栄山妙法寺 小室村

古筆古画数本(未詳)

卷八十六 仏寺部第十四 八代郡西郡筋

金剛山宝寿院 市川大門村

不動ノ画(未詳)

川浦山薬王寺 上野村

逍遙軒十二天ノ画像十二幅

河中島ニ於テ信玄謙信合戦ノ図

卷八十七 仏寺部第十五 巨摩郡西河内領

三守皇山大聖寺 八日市場村

十王・五大明王ノ画像二幅(未詳)

正福寿山南松院 下山村

十六善神ノ像・涅槃像・達磨像 以上 土佐家ノ画 唐画

菅相丞ノ像・渡唐天神ノ像 策彦和尚賛



開山（桃隱和尚）ノ肖像 春國和尚贊

葵庵尼肖像 天桂和尚贊

勝千代ノ肖像 円藏院住岩和尚贊

古画数多アリ

華岳山竜雲寺 下山村

牧溪墨画ノ観音、開山悦江和尚ノ書等其ノ外古书画数多アリ

大野山本遠寺 大野村

三十番神ノ画像 土佐画（養珠院に關連するものであれば江戸期か）

鬼子母神・十羅刹女ノ像 日蓮画

身延山久遠寺

天台大師像 絹地ナリ 兆典司ノ筆 其ノ外ニ仏画

一 卷八十八 仏寺部第十六 八代郡東河内領

該当作品なし

一 卷八十九 仏寺部第十七ノ上 都留郡郡内領

大饑山長生寺 下谷村

十六善神ノ画一幅狩野安信鑑定ノ折紙ニ云フ十六善神之画

一幅琢磨ノ真筆無キ疑ヒ者也亥陽ノ月廿四日法眼永真印章

十六羅漢画一幅 一円ノ相内ニ画 兆殿司筆無落疑（款カ）

竜虎梅竹ノ画屏風 彩色 古法眼筆ノ由相云フ

相伝フ鳥居士佐守政次寄附ト

禅定山長安寺 上谷村

詮問法眼ノ筆 真向ノ弥陀像一幅  
水上山月光寺 下吉田村

開山絶学祖能禅師ノ像並ビニ自贊一幅 表装天文九年庚子再補 相似ルモ

不レ齊シカラ 爾ハ是レ誰ゾ、一靈ノ性跡画クモ 難シ成

リ、筆頭ノ幻質ハ真面目、万像森羅双眼ノ晴絶学能和尚

自贊 応永卅五年五月九日

向岳寺開山ノ影像並ビニ自贊 表装年月非ズ 凡ニ非ズ聖ニ、

一法不レ修メ、本ト有ニ妙用一、天真ノ風流、応永廿九

年臘月三日 前広園怡□□令拝書

三光国師ノ影像並ビニ自贊 表装年月同前 彼此何ゾ分タン 兩箇ノ

身、爾ト兼ト我レ得タリ是ノ全真ヲ、曰ハ暮レテ山

房明月ノ影、雪ハ消シテ未ダ待タ自ラ迎フ春ヲ、咄、

雲樹ノ三光国師自贊

鷲峯ノ開山法灯国師ノ影像並ビニ自贊 表装年月同前 心ハ即チ

是レ仏、仏ハ即チ是レ心、心仏如々、亘レ古ニ亘ル今

ニ鷲峯ノ開山法灯国師自贊

広園開山影像並ビニ自贊 表装年月同前 爾ハ則チ是レ我、二ツナガラ

無シ両般一、我ハ則チ是レ爾、一ニシテ有ニ多種一 觀拜書

半身達磨 無名画一幅梅涯筆ノ由証書アリ

彩色全身達磨 無名一幅唐裏書ニ云フ 檀那下総ノ国海上庄大田

郷金隆坊権少僧都寄ニ附ス之レヲ 甲州都留郡吉田郷水上山月

江禅寺常住于ニ時慶長五年 庚子 仲呂念日住持比丘雲祥代



蛤観音彩画 印知 一幅 兆典筆探信ノ鑑札ヲ添フ

聖徳山福源寺 下吉田村

本尊太子十六歳画像 (未詳)

聖徳太子画像 竪三尺三寸七分 横一尺二寸二分 古画 ナリ 或云フ 太子ノ自画ト

不<sub>レ</sub>知<sub>二</sub>是非<sub>一</sub>ヲ

卷九十 仏寺部第十七ノ下 都留郡郡内領

吉積山西念寺 上吉田村

渡唐天神ノ画 古画無<sub>二</sub>名氏<sub>一</sub>

拈華山善応寺 川口村

唐画 一幅 南蠻老人 西王母

十六善神一幅 古画

川応山淨泉寺 川茂村

弥陀ノ影像一幅 恵心僧 都筆 (未詳)

真木山福正寺 真木村

弥陀ノ影像大幅 古綱唐画

頭如ノ影像 裏書元和三丁巳年四月廿八日 釈准如在判願主釈宗玄

岩殿山円通寺 岩殿村

十六善神一幅 大般若經中ニ屬スレバ是亦 応永中ノ画ナルベシ

不動明王ノ古画二幅

老梅鷹古画 唐画 無名

涌出山福泉寺 上野原村

弥陀ノ画像

太子十六歳の御影 共ニ古画ナリ (未詳)

湧金山宝生寺 小菅村

十三仏画、相伝ヘテ 小菅遠江守家藏ナリト云フ

十六善神、繡仏古物ニシテ破裂甚シ 蓋シ 唐山舶来ノ物ナルベシ

弥陀仏画影、元ト 本村池ノ 尼ト云フ 地ニ小堂中ニ安置ス (彫刻か、未詳)

以上が、『甲斐国志』に記載された中世絵画の目録である。実際には伝存される遺品で記されていない絵画もあり、また作者を正確に伝えていない例も窺えるが、実見していない絵画が数多く見られるので、ここでは表記のままとどめ、私見を記していない。

武田氏に関わる絵画には、高野山に伝存する遺品もあり、また東京国立博物館等にも所蔵され、未だ、基本的な絵画目録が作成されていないのが現状である。本稿は基礎資料として作成しただけに留めたが、このことに関してはいづれ改めて稿を草するつもりである。

(市史編さん専門委員)